

新しい中央図書館も、おかげさまで無事、開館1周年を迎えることができました。“初心者から上級者まで”をコンセプトに、“北区のことなら何でもわかる”場所として「北区の部屋」がオープンし、そこで働く地域資料専門員も、その北区に対する豊富な知識を駆使して、日々皆さんからのレファレンス（質問）にお答えしています。

「北区の部屋だより」では、そんな専門員が紹介する北区のこぼれ話を中心に、「北区の部屋」の活動や、北区に関する資料などをご紹介します。

赤羽でドカーン！

北区こぼれ話
其ノ一

工兵隊の水中爆破ショー

ドカーン！巨大な水の柱が立ち上がり、続いて雷のような音がとどろいた。巻き添えをくった魚たちは、空中高く舞い上がり、そして水面に降り注いだ。

魚が降ってくるといっても超常現象ではない。明治25年4月29日、明治天皇臨席の下でおこなわれた工兵隊による水中爆破の様子である。場所は、赤羽の荒川河川敷であった。当時、区内には二つの工兵隊があった。現在の星美学園のあたりに、第一師団の工兵大隊があり、北社会保険病院のところに近衛師団の工兵中隊があった。工兵隊の仕事は、道路や橋、陣地などを造ったり、逆に壊したりすることである。

水中爆破をおこなったのは、第一師団の工兵隊である。一方、近衛工兵中隊でも、火薬を使って木を切ったり、地雷を爆破したり、とにかく派手な演習をおこなった。この日、明治天皇の御前でおこなわれたものは、演習というより、むしろ爆破ショーであった。特に、お供の人々の反応は「奇観この上やあるべきと供奉の人々が喝采の声ここにも波立ちて湧き返へり」（『東京日日新聞』明治25年4月30日「袋村近衛兵営の行幸」）というものだった。工兵隊の門前には、近隣の小学校から子どもたちが集められていたが、彼らも黄色い歓声をあげたことであろう。

日本が、最初の近代的戦争たる日清戦争を経験するのは、この二年後であった。

（中央図書館地域資料専門員：黒川 徳男）



近衛工兵連隊（終戦時）の門は、国立王子病院（現・北社会保険病院）へ引き継がれた。（故、渡辺肇氏撮影）

そういえば最近、空からおたまじゃくしが降ってくるという事件がありましたね！

今月の展示

◆平和祈念企画展「北区の空襲と隣組」

会期 平成21年7月24日(金)～8月26日(水)

場所 中央図書館「北区の部屋」

北区の部屋では、毎月テーマを決めて様々な展示を行っています。

今月は、北区平和祈念週間にあわせ、王子区や滝野川区に対しておこなわれた空襲や、隣組の防空演習などについての展示をおこないます。バケツリレーの写真や、被災者に渡された証明書など、区民の皆様から提供された貴重な資料をお見せいたします。さらに、疎開中に家を焼かれた子どもの新聞記事や、任務のさなかに自宅の焼け跡に戻った兵士の手記など、区民の空襲体験についてもパネルで紹介し、より実感していただくことができます。

また、あわせて、平和図書コーナーも設けますのでご利用下さい。

この機会に平和の尊さについて、じっくり考えてみませんか？



今月の予定

北区の部屋では、夏休みに合わせて、小中学生向けのワークショップを企画しています。この夏休みは、“体験し考える”そんな機会を作ってみませんか？

■小学生向けワークショップ 「北区平和のたんけんたい」

日時 平成21年8月1日(土) 午前10時～11時30分

対象 小学3年生～6年生

場所 中央図書館3階ホール

■中学生向けワークショップ 「徹底討論! “吉宗” っていう人? 悪い人?」

日時 平成21年8月8日(土) 午後1時～4時

対象 中学1年生～3年生

場所 中央図書館3階ホール



中央図書館「北区の部屋」では、北区の歴史に関わる資料を探しています!

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか? 中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を、地域資料として収集しています。江戸時代だけでなく、明治以降の資料も、地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。

刊行物登録番号 21-2-012

平成21年7月24日

編集・発行

北区立中央図書館「北区の部屋」

114-0033 北区十条台1-2-5

TEL 03(5993)1125

FAX 03(5993)1044

北区の部屋だより

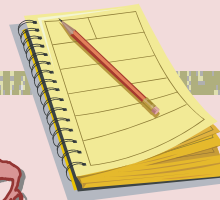
第2号



二〇〇九年九月

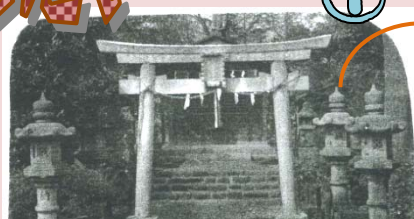
8月の初めに中央図書館では、小学生向け・中学生向けのワークショップを開催しました。昨年度から始めたワークショップも、今回が2回目です。まだまだ手探りながらも、とても充実した内容となりました！ 今回の「北区の部屋だより」では、その様子をご紹介します。

ワークショップ大特集 小学生向けワークショップ 北区へいわのたんけんたい



8月1日(土)、小学生向けワークショップ「北区へいわのたんけんたい」が開催されました。

当日は、雨も降らず日差しも少し差す程度で、まさに探検日和！小学1年生から6年生までの10人が参加し、中央図書館の周辺に残る「戦争遺跡」を、専門員の説明を聞きながら回りました。



在りし日の四本木（よもとぎ）稲荷

① 図書館前の旧稲荷公園には、かつて神社がありました。今は慰霊碑が建っているだけです。



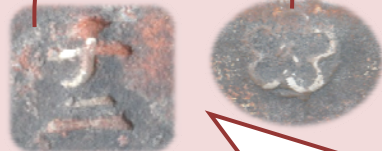
旧254号棟

② 自衛隊の敷地内には、戦前に陸軍の変電所として使われていた建物の一部が、モニュメントとして残されています。



レンガの刻印

③ 図書館の中の柱や周りのレンガ壁からは、右のような刻印を見つけることができます。みんな夢中になって探しました。



こんなマークがレンガの上に！米軍兵が刻んだサインなども発見しました。



④ 中央公園文化センターは、戦前は陸軍の工場の本部、戦後には米軍の野戦病院となりました。戦前は右上の写真のように、茶色い壁でしたが、戦後米軍に接收されたとき、今の白い色に塗られました。

戦前の中央公園文化センター



⑤ 最後はみんなでパズル。周ってきた戦争遺跡を地図にあてはめます。それを先生が説明。



⑥ 憲兵の詰所跡

コレ 民家の物置のように見えますが、実は戦前は憲兵の詰所でした。このように道端の何気ない所にも戦争の痕が隠されています。

中学生向けワークショップ 吉宗 についていい人？ 悪い人？ 徹底討論！

中学生向けワークショップは、8月8日(土)に開催されました。当日は、歴史好きな4名の小中学生とお父さん1名が参加し、区民の会地域資料部会員も交えながら、自由に自分の吉宗評をぶつけあいました。

時代劇でもおなじみの江戸幕府八代将軍。徳川吉宗。彼は、「享保の改革」を推進したことで中学校の教科書にも登場します。でも、みなさんは、教科書に書かれている歴史って、自分とは関係ないと思いませんか？ いやいや、そんなことはありません。そこで、まず吉宗の改革が、北区にどのような影響を与えたのか学習しましょう！！

それでは、吉宗は北区民にとって、いい将軍だったのか悪い将軍だったのか。

徹底討論スタート！！

幕府の財政を建て直すことは非常に重要。それを果たした吉宗は立派だった

幕府が揺らげば日本自体が大変なことになってしまう

飛鳥山の桜の植樹政策にも

結局、改革のつけを庶民に押し付けてきたから、その罪滅ぼしだ

政策自体は評価できるけど、あの自画自賛の飛鳥山碑はいらない！！

各出版社から出ている教科書も使って、吉宗の業績を読み取り、どんな政策を行ったのか、その結果どうなったのか、などを全員で討論していきます。時には大激論になり、あっという間に時間が経過！！

そのしり寄せが農民に行ってはしょうがない

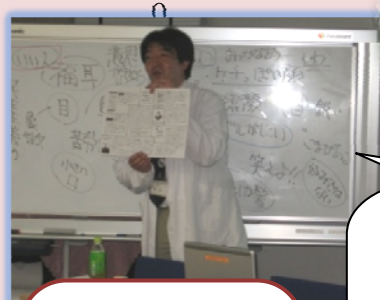
結局、吉宗は国というより幕府のことしか考えていなさそう

教科書によって、記述の仕方が随分違うという発見もありまし

議論が白熱！

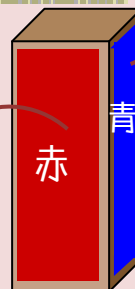
それでも実際に憩いの場ができて、多くの庶民が楽しんでいたのでから良いのではないか

吉宗が建てた飛鳥山碑は今も飛鳥山に建っています



今回のワークショップをコーディネートした日本近世史研究家の保垣孝幸氏の話

今の中学生はあまり討論という場に慣れていないのではないかと心配していたのですが、実際にやってみると活発に意見が飛び交って大変驚いています。今後もこうした場を提供していきたい。



毎回ブロックを使って、Yes か No か自分の意見を決めます

なぜYesなのか、なぜNoなのか、その理由をちゃんと書いていきます。

まずは肖像画を見て、“見た目”で判断！人は見た目も重要！？

・福耳 いい人？
・苦労してそう
・意思が強そう
・目がやさしい など

吉宗

・怖そう 悪い人？
・ずるがしこそう
・しわが多い
・ケチ？ など



参加してくれたみんなの感想

・いろんな人と討論することができて面白かった。
・色々な人の意見が聞けたから面白かった。
・はじめは、ただ話を聞いているだけかと思っていたのですが、参加型だったので面白かった。

平成21年8月27日 (刊行物登録番号 21-2-012)

編集・発行 北区立中央図書館「北区の部屋」

114-0033 北区十条台1-2-5 TEL 03(3919)5944

いつの間にか季節は秋。「北区の部屋だより」も早いもので、第3号の発行となりました。今回は、地域資料専門員のコラムに加え、図書館の新着地域資料の一部もご紹介いたします。また昨年の開館以降、中央図書館も雑誌などで紹介されることが増えました。それも併せてご紹介しますので、最後までお付き合いください。

北区こぼれ話 第20回

「北区」はどうして「北区」なの??

テレビのニュースで流れる「…北区で…」という言葉について反応して画面を食い入るように見つめると「大阪市北区」だったり…。そんな体験したことありませんか？

そう、実は「北区」という地名は全国にあり、政令指定都市では、札幌市、さいたま市、浜松市、名古屋市、大阪市、堺市、京都市、神戸市、岡山市、新潟市の10ヵ所に上ります。また、広島市安佐北区や北九州市小倉北区といった地名の一部に「北区」が含まれるとなるとその数はさらに増えます。

そんなどこにでもあるような名前の我が街「北区」ですが、区名決定にいたるまでには様々な議論が重ねられました。候補として挙がっていたのが「飛鳥山区」「桜区」「城北区」「京北区」などなど。最も有力視されていたのが「飛鳥区」で、東京新聞が都民にとって懸賞付きアンケートでは見事一位をとっています。当然、議会でも議題となりましたが「飛鳥」という読みが常用漢字表に入っていないことなどを理由に却下され、「城北区」や「京北区」といった名称が有力となりました。それなら、「何の北」ではなく、単に東京都内での位置関係を示せばいい、そして「北」であれば東京市編入以前の「北豊島郡」の「北」にも繋がるといった理由が支持され、正式に「北区」という称が決定しました。

当時は、賛否両論が交錯していましたが、それから60余年を経てさすがに定着し、愛着を持つ人々も増えてきているのではないのでしょうか。当然のことながら、特別区として存在しているのは東京都北区だけ。ちなみに、先の10の政令指定都市の場合、全て南区もあり、南区がなく「北区」だけのというのも東京都北区だけです。

(北区の部屋・地域資料専門員：保垣 孝幸)



中央図書館
「北区の部屋」では
北区の歴史に
関わる資料を
探しています！

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか？中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を、地域資料として収集しています。江戸・明治前期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。

今月の展示

「北区の歴史」ができるまで ～「北区の部屋」作業室の裏側～

会期：9月25日～10月21日

中央図書館「北区の部屋」には、「北区の歴史」に関する本が数多く並んでいます。

でも、こうした本はどうやって書かれた

のでしょうか？実は1冊の本、1つの文章

を書く背後には膨大な作業が

あります。今月の展示では、

「北区の部屋」作業室で行って

いる具体的な作業を中心に、

「北区の歴史」が叙述されるまで

をご紹介します。



今月の予定

公開歴史講座

戦前の王子で選挙に勝つ方程式

～町会議員はどうやって選んだの？～

講師：黒川 徳男（日本近代史研究家）

日時：10月24日（土）午後2時～

場所：中央図書館 3階ホール

有権者15名が議員15名を選ぶ？！

選挙に財産制限があった時代、企業城下町だった王子では、かなり変わった選挙が行われていました。明治・大正時代、王子町会議員の選挙は、1級・2級の二つがありました。そのうち1級選挙では、15名の有権者が15名の議員を選んでいました。なぜ、このような変わった選挙がおこなわれていたのでしょうか？

戦前の王子での選挙について、専門家がわかりやすくお話しします。

地域資料新着図書紹介

中央図書館では、毎月多くの地域資料を受入しています。地域資料とは、北区や周辺地域に関する資料のことで、行政が発行する行政刊行物や、パンフレット、地図なども図書館では地域資料として収集しています。今回はその中から極一部ですがご紹介いたします。

☆一般の地域資料☆

『康子十九歳－戦禍の記録』（門田 隆将／著、文藝春秋）

◆戦前に中央図書館一帯にあった軍工場で働いていた女性の伝記。

8月にドキュメンタリー番組としても放送されました。

『ちい散歩 職人の技・老舗の味』（地井 武男／監修、日本芸芸社）

◆王子稻荷参道沿いの石鍋久寿餅店が紹介されています。

『技師青山士－その精神の軌跡』（高崎 哲郎／著、鹿島出版会）

◆パナマ運河建設に関わった唯一の日本人として有名ですが、荒川放水路や岩淵水門建設にも従事しました。

『渋谷栄－「道徳」と経済の間』（見城 梯治／著、日本経済評論社）

『荒川サイクリングマップ～奥秩父の山懐から東京湾へ』

（ロコモーションパブリッシング／発行）

☆北区の刊行物☆

『北区立図書館70周年記念誌』（北区立中央図書館／編）

『文化財研究紀要』第22集（北区生涯学習推進課文化財係／編）

『飛鳥山博物館研究報告』第11号（北区飛鳥山博物館／編）

『税 TODAY－みんなで読める税の本』2009年版（北区区民部税務課／編）

『いい顔きたく－北区鉄道物語（DVD）』（北区政策経営部広報課／編）

『街よ！元気になれ』第13号（北区まちづくり公社／編）

『設立20周年記念誌－20年のあゆみ－』（北区文化振興財団／編）

『創造北区＜商業編＞＜ものづくり編＞』（北区産業振興課／編）

中央図書館が 紹介されています！

■『新建築』第84号

■『ユードコスタイル』19号

■『あうる』No.84（2008年8+9月）

■『王子法人会だより』（2009.2.1号）

■『地方債月報』2009年3月号

■『ウィークリー出版情報』

◎名作本の表紙になりました

今年7月にぶんか社より発行され

た文庫本『人間失格』『坊ちゃん』

『風立ちぬ』の表紙写真の撮影に

中央図書館が使われました。

刊行物登録番号 21-2-012

平成21年10月1日

編集・発行

北区立中央図書館「北区の部屋」

114-0033 北区十条台1-2-5

TEL 03(5993)1125

FAX 03(5993)1044

「北区の部屋」では、毎日のように利用者の皆さんから“北区について”のレファレンス（質問）があります。中には、調べるのに何日もかかるような難しいものも…。今回はそのようなとき、どんな資料を使って調べているのかをご紹介します！

北区 こぼれ話

第30回

◆ひいおじいさんのことをしらべたい◆

「北区の部屋」の資料専門員への質問の中に「我が家は、戦前から北区に住んでいますが、明治生まれのひいおじいさんのことについて調べたいのです」というような内容のものが時々あります。今回は、その方法についてお教えしましょう。

もし、ご先祖様が、商店や工場の経営をしていた方や、町会長や町会議員などの役職についていた方なら調べる方法があります。まず、最初に手に取るべき本は、**昭和7年刊行の『北豊島郡総覧』**です。北区域は、昭和7年9月の東京市編入まで、「東京府北豊島郡」に属していました。そのため、この本には、当時の岩淵町・王子町・滝野川町のこと詳しく載っています。『北豊島郡総覧』の後半は「人物編」になっており、人名と経歴が「いろは」順に掲載されています。

これに名前がない場合、王子区に住んでいた方については、**昭和11年の『王子区年鑑』**を見ましょう（北区は、昭和7年から22年まで王子区と滝野川区に分かれていました）。この本の後半にも「人物名鑑」が掲載されています。人名の順番がバラバラなのが難点ですが、当時の町会役員なども多く掲載されています。

滝野川区については**昭和9年の『在都人物名鑑 滝野川区編』**があります。出身府県別に人名と経歴が掲載されています。

もし、これらに掲載されていない、あるいは別の場所で暮らしていたという場合には、全国レベルの本ではありますが、日本図書センターが刊行した**『明治人名辞典』『大正人名辞典』『昭和人名辞典』**などがあります。人名辞典といっても、内容は、いわゆる紳士録の復刻版ですので、有名人ばかり載っているわけではありません。

それでも見つからないという場合、あきらめずに専門員にご相談下さい。そして、お時間を下さい。見つかることも、そうでないこともあります。

もし、だめだったら、ごめんなさい。（北区の部屋・地域資料専門員：黒川 徳男）

今月の予定

今月は、北区図書館活動区民の会・地域資料部が企画運営する、都電に関する展示と講演会が行われます。都内に唯一残る路面電車の歴史を感じてください。

◆区民の会企画展示 「王電から荒川線まで」

会期 平成21年10月28日(金)～11月25日(水)

場所 中央図書館1階 北区の部屋

明治44年、大塚～飛鳥山間に開通して以来、都内唯一の路面電車として今も走り続けている都電荒川線。講演会に先立ち、区民の会地域資料部が、図書館にある写真パネルや図書を利用して展示を行います。

◆区民の会企画運営講演会 「王電から荒川線へ」

日時 平成21年11月28日(土)

場所 中央図書館 3階ホール

講師 伊藤 暢直 氏(豊島区教育委員会学芸員)

※お申込方法については、北区ニュース10月20日号をご覧ください。

地域資料新着図書紹介

◆「ぼくが探偵だった夏」(内田康夫/著、講談社)

おなじみ浅見光彦の少年時代が、ジュニア向けの小説として登場しました。

◆「除夜の狐たち」(中西勝彦/写真)

大晦日に行われる「王子・狐の行列」の様子を収めた写真集。

◆「陸軍造兵廠の少年技術者たち」

(進藤忠男・高木文夫/編著)

◆地域雑誌「谷中・根津・千駄木」第93、94号

「谷根千」の愛称で親しまれてきた雑誌も、惜しまれながらも第94号が最終巻となりました。

◆「回想の和紙」(町田誠之/著、紙の博物館/編)

◆「百万塔」第133号(紙の博物館/編)

◆「青淵」平成21年8月号、9月号

(渋沢栄一記念財団・渋沢史料館/編)

◆「俳枕 江戸から東京へ」

飛鳥山、王子稲荷、名主の滝など、北区を代表する場所の俳句が詠まれています。

◎行政刊行物◎

北区や東京の行政機関が発行している資料です

◆「東京都北区議会会議録」

平成21年第2回定例会(北区議会/編)

◆「北区のバランスシート」平成20年度決算

(北区政策経営部財政課/編)

◆「北区事務事業評価方針一覧」平成22年度

(北区政策経営部/編)

◆「東京都北区各会計歳入歳出決算及び各基金運用状況審査意見書」(北区監査委員/編)

◆「消費生活相談事例集」2009

(北区消費生活センター/編)

◆「東京の環境」2009(東京都環境局/編)

◆「とうきょうの自治」No.72、No.73

(東京自治研究センター/編)

◆「路線図(豊島・北・荒川・板橋・練馬・足立・葛飾・江戸川)」平成21年分

(東京国税庁/資料提供)

中央図書館
「北区の部屋」では
北区の歴史に
関わる資料を
探しています!

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか?中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を、地域資料として収集しています。江戸・明治前期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。

北区 こぼれ話

第4回

「江戸」 ってどこまで!?



いきなり私ごとで恐縮ですが、私は「東京」に住んでいます。緑豊かで高尾山にも歩いて行けますが一応「東京」です。近所に住む地方出身の学生は、実家より田舎なので驚いています。…それでも「東京」です。当然、高層ビルなんかはありません。

さて、同じように「江戸」といっても江戸城を中心に武家屋敷や商家が建ち並び、熊さん、八っあんが裏長屋で生活している、そんな風景ばかりが「江戸」ではありません。実は田園風景が広がる北区も「江戸」の一部だったのです。

そもそも幕府は「江戸」という市域の範囲を明確に決めてきませんでした。したがってさまざまな場面で登場する「江戸」の範囲がみんな異なっていたのです。例えば江戸時代の刑罰である「江戸払い」。この時は品川・板橋・千住といった街道初宿とともに四谷大木戸、深川・本所の外に追放することと規定されています。すなわちこの範囲が「江戸」なのです。寺社奉行が諸国寺社に「江戸」での勧化を許可する場合、その範囲は東は砂村や亀戸、西は代々木、角筈、上落合、南は南品川、大崎で、北は千住や滝野川と各川限りで区切られていました。城下に住んでいる旗本・御家人らが「江戸」から出るときの届書に規定する範囲は曲輪内(東は常磐橋、西は半蔵門、南は外桜田門、北は神田橋)から四里以内としています。町奉行所の支配範囲はこうした範囲とも異なっています。

こうしたなかで幕府自身も「江戸」の範囲が判らなくなり、文政元年(1824)になってはじめて正式に「江戸」の範囲を決めました。それが有名な「江戸朱引図」というものです(『北区史』資料編 近世1口絵)。この図において「江戸」の北側の境界線(朱引き)は石神井川に引かれました。したがって北区で言えば滝野川村や西ヶ原村など、現在の滝野川地区の一角が「江戸」に区分されるようになったのです。

そうなんです、滝野川地区の方々は「江戸」の住民だったのです。だから何って言われても困りますが、まあ、私が「東京」在住と言い張るのと同様に「江戸」の住民だって言い張ればいいじゃないですか! 何のメリットもありませんが…。

(北区の部屋・地域資料専門員 保垣 孝幸)

今月の展示

北区の部屋では、毎月テーマを決めて展示を行っています。今月の展示は、もしかしたら懐かしさを感じる方もいらっしゃるかも…？

「北区の引き込み線ーわが街にあったちょっと変わった鉄道ー」

会 期 平成21年11月27日(金)～12月28日(月)

かつて北区には、4本の引き込み線がありました。豊島の化学工場へ続く須賀線。須賀線から分岐して王子5丁目の製紙工場へ続く北王子線。志茂1丁目の国鉄火力発電所へ石炭を運んだ線。赤羽の台地の上で旧陸軍や米軍の物資を運んだ線。小さな機関車が、貨車を引き連れ、ゆっくり走る引き込み線は変わった鉄道でした。

周辺に住んでいらしゃった方々には、危険で迷惑な存在であったり、時には近道として線路上を歩いてしまったりと、様々な想いがあることでしょう。現在、残されているのは、北王子線だけです。区内から工場や米軍施設、発電所が消えるとともに、引き込み線もその役目を終えました。そして、道路や公園へ姿を変えていきました。

今回の展示では、そんな、危うげでユーモラスでもあった引き込み線について、写真や新聞記事、地図で振り返ります。

今月の新着地域資料

●北区の地域資料●

- ◆「北区アゼリアプラン事業実績報告書 平成20年度」
(北区子ども家庭部男女共同参画推進課/編)
- ◆「北区行政資料集 平成21年度版」(北区政策経営部企画課/編)
- ◆「東京都北区立学校適正規模等審議会第三次答申」
(北区立学校適正規模等審議会/編)
- ◆「北区の環境(平成20年度実績)」(北区生活環境部環境課/編)
- ◆「高齢者福祉のしおり(平成21年度版)」
(北区健康福祉部高齢福祉課/編)
- ◆「青淵 平成21年10月号」(渋沢栄一記念財団/編)
- ◆「街から 第101号・102号」(街から舎/発行)
- ◆「街よ!元気になる! 地域特集号・総集編」
(北区まちづくり公社/編)
- ◆「北区狛犬・石仏めぐり」(増田 由明/著)
- ◆「むすびあう人々-富士山信仰にみる庶民の暮らしぶり」(中山 学/編著)

●東京の地域資料●

- ◆「スポーツ・運動に関する世論調査」
(東京都生活文化スポーツ局/編)
- ◆「東京都工業指数年報 平成20年度版」
(東京都総務局統計部商工統計課/編)
- ◆「東京の近代和風建築」(東京都教育庁/編)
- ◆「都営交通のあらまし 2009」(東京都交通局/編)
- ◆「働くあなたと中小企業経営者のための支援ガイド 2009年度」(東京都産業労働局総務部/編)

●その他の地域資料●

- ◆「国の施策及び予算に関する要望書 平成22年度」
(特別区長会/編)
- ◆「企画展・甲冑 西と東～西洋甲冑と日本甲冑・南蛮胴具足」
(板橋区立郷土資料館/編)
- ◆「ひらけ!アルバム!!多摩の風景いま・むかし」
(多摩市文化振興財団(パルテノン多摩)/編)

中央図書館
「北区の部屋」では、
北区の歴史に
関する資料を
探しています!!

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか? 中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を、地域資料として収集しています。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。

よろしく
お願い
します!

